



日本共産党市会議員 かたやなぎ 進

片柳すすむ 市政報告

発行 日本共産党 川崎市議会議員団
川崎区宮本町1番地 第2市庁舎7階
TEL 200-3360 FAX 245-4140
その他の連絡先 TEL 246-6823

こどもの医療費は、所得制限なしで小学校6年生まで無料に

片柳すすむ市議が日本共産党を代表して 提案

「1回500円」の負担金
―根拠は破綻している

川崎市9月議会（決算議会）では、2015年度の決算議案や小児医療費助成制度に「1回500円まで」の一部負担金を導入する議案、市民利用施設・事業系ごみなどの値上げ議案などについて審議されています。日本共産党の代表質問、決算審査特別委員会での片柳市議の質問をご紹介します。

10月17日の本会議で「川崎市小児医療費助成条例」を一部改訂して「小学校4年から6年生まで上限500円の一部負担金を導入する」という市長提案について、片柳市議が、共産党市議団を代表して「小6まで医療費は無料。入院含めて所得制限をすべて撤廃する」という修正案を提案しました。



市長はこれまで「一部負担金」の理由について「無料だと不要な受診が増え医療機関が疲弊する」と述べてきましたが、共産党市議団は、「中学生まで無料にしている自治体でもそうした事実はない」と指摘。市長

はまともな答弁ができなくなりまして。6年生まで無料を實施しても、川崎市の豊かな財政状況から見れば決して大きな負担ではなく、県内他市でも「一部負担金」を實施している市は一つもありません。結果的には共産党以外の3党派が市長案に賛成して可決したため、私たちの修正案は否決されましたが、こどもの命と健康を守るために引き続き制度の充実を求めてまいります。

- ▼市長案▼
・小学校4～6年生まで、「1回上限500円」の一部負担金を
- ▼共産党の修正案▼
・小学校6年生まで、無料に
・所得制限撤廃（入院・通院）

就学援助―お金の心配なく
安心して学べるように

「就学援助」とは、お金の心配なく小・中学校に通えるよう学用品費や給食費などを自治体が支援する制度（川崎市の4人世帯の目安は年収329万円）です。東京都では中学生の28%が利用しています。

片柳市議と日本共産党は9月議会、「他自治体では『生徒会費・PTA会費』も対象としているの

だから、川崎市も援助対象に追加すべきでは」と質問。入学式や進級時の懇談会などで就学援助の制度説明をするよう要望しました。教育委員会から「関係局と協議する」「入学説明会などの機会に周知したい」との答弁がありました。また県内で最も厳しい川崎市の認定基準について、他市を参考に拡大するよう求めましたが、教育委員会の答弁は市民の願いに背を向けたものでした。

ヘイトスピーチ抑止の具体策を

片柳市議は決算審査特別委員会でヘイトスピーチ問題について質問。法務省が作成した「ヘイトスピーチ、許さない」のポスターを、市の広報掲示板や町内会等に協力を求め、大規模に活用するよう求めました。「関係局と調整する」

「町内会等に意見を聞く」との答弁がありました。

片柳市議は次に、施設利用の窓口や「ふれあいネット」（川崎市公共施設利用予約システム）に「不当な差別的な言動を行うことは許さない」という法律や条例の趣旨を表示して、ヘイトスピーチを抑止することを提案しました。市民文化局から、①道路公園センターの窓口にチラシを置き周知を図っている、②「ふれあいネット」での周知啓発を協議・調整していく、との答弁がありました。

片柳市議は「人種差別を許さない」という決意が伝わるよう具体化を、と要望。このほど「ふれあいネット」に法務局webサイトへのリンクつき広告（下）の表示が開始されました。



住居 要望実現 八丁畷駅前の見通しが良くなりました

この欄でもたびたび取り上げてきた八丁畷駅前の安全対策について、7月に壁が崩落して危険な状態だった建物の撤去が進み、見通しが利かない通学路と

なっている交差点が、かなりすっきり見渡せるようになりました。



写真右側の鉄板は年度内に、見通せる網状のものに変更する予定とのことです。



秦真理子さん (本町)

安くて使いやすい介護サービスを

もうじき百歳になる要介護度5の母親の介護をしています。お金さえあればヘルパーでも何でも頼めるのですが、介護は毎日のことですし、とてもそんな余裕はありません。高齢なので、ふとしたことで内出血をしたり、菌に感

染してしまいます。2時間おきに給水をしなければならぬし、突然のことで仕事や予定をキャンセルすることもしばしばあります。寝たきりの母と外出しようとする

れば介護タクシーを使えば4〜5千円かかりますが、市のやっている『おでかけGO!』は1ヶ月前に予約すれば1時間なら400円で、車で送迎してくれるので本場に助かっています。ただ、すごい競争率でなかなか予約が取れないうえ、この間から休日の利用がで

文教委員会へ

川崎市民ミュージアムに「1年契約」の学芸員?

10月13日の文教委員会で川崎市民ミュージアム(中原区等々力)の指定管理者を選定する議案などが審議されました。

ミュージアムの中核を担う学芸スタッフが減員され、代わりに学芸員資格も問わず1年契約で募集されていることが質疑で明らかとなりました。

ミュージアムの収蔵品には日本人が写っている世界最古の銀板写真(1851年撮影)もあります。温・湿度の管理を厳格にしないと画像が消失してしまう代物です。これらの高度な専門知識や技術が必要な収蔵品の



1851年の銀板写真 (市民ミュージアム所蔵)

保存や修復を1年契約の「無資格学芸スタッフ」が適切に行えるのか、大いに疑問です。

これらの問題点を指摘して、経験と知見ある学芸員の雇用を継続しミュージアムの質を担保するよう求めたところ、財団と教育委員会、指定管理予定者に雇用継続や人材確保の配慮を要請することはできるが「民・民の問題」なので難しい、との回答がありました。指定管理とはいえ市の施設なので、質の担保に必要な対応をとるよう引き続き求めていきます。

安全と健康を最優先で 中学校給食の実施を

いやしくすること、介護保険の保険料を安くして「介護保険でこういうサービスが使えます」と市民に知らせることなど、言いたいことがたくさんあります。片柳さんの奮闘を期待しています。

来年度から始まる中学校給食について、決算特別委員会で質問しました。川崎区の中学校など南部給食センターは2017年9月から、中部・北部給食センターは12月からの開始予定です。

片柳市議は先ず、給食センターからの配送計画が変更された過程について、次に「当日調理」が原則の給食調理で事前の調理等を行う予定がないのかどうか確認し、「事業者との関係」や効率性よりも、子どもの安全や健康を第一に取り組むよう求めました。

また中学校の配膳室の整備について、学校現場の「配膳室が学校に1カ所だけでは3〜4階まで生徒が運び、教員も見守らなければならず、負担が大きい。各階に配膳のスペースを設けるなどしてほしい」との声を紹介し、「学校の希望や実情に合わせて、複数の配膳室と配膳スペースの設置をすすめるべき」と指摘、学校現場との検討状況を質しました。教育委員会は「学校の意見を聞きながら効



自校調理の東橋中学校の試行給食

率的にできるよう、別途配膳場所を設けることも含めて検討していただきます」と答えました。

アゼリア地下街入口のオルゴールの音が...

お子さんに人気の、毎時0分に自動演奏されるアゼリア入口のオルゴール(「宇宙カプセル」)ですが「最後の部分で音がずれているため、聴いていて気になって仕方がない。直すことはできないでしょうか?」と、数人の方から意見をいただきました。

川崎アゼリア株式会社に伝えられたところ「開業時に設置してから30年が経っているため部品調達も難しくなっているが、製作元の会社に点検を依頼し、9月に可能な限り調整しました」との回答がありました。



アゼリア入口の「宇宙カプセル」

政務活動費「公開」求めてきた共産党

富山市等でも大問題になった政務活動費。共産党川崎市議団は以前から「1円単位で領収書付きの公開」を要求し01年には条例を提案。否決後も独自に1円単位から公開。そして08年度からは市議会として、1円以上の政務調査費の収支報告書が領収書付きで公開されるようになった。



No.17 片柳 すすむ 日進月歩

2013年には「要請・陳情活動費」などにも政務活動費を支出できるとする条例改定案が出されたが(共産党市議団は反対)、共産党は、施行後

は支出せず、保育や介護など市政の課題についての資料や専門的な講師の学習会、また議会活動の内容を幅広く知らせる議会報告などにのみ支出しています。

今後率先して範を示していきたいと思えます。

